

国立大学法人 お茶の水女子大学
「女性研究者に適合した
雇用環境モデルの構築」

学部生 2,201 名 大学院生 1,076 名
教員数 352 名 (H19.5.1 現在)
創 立 1875 年わが国最初の女性の高等
教育機関として、数多くの優秀な研究
者や教育者を輩出。
所在地 東京都文京区大塚 2-1-1



教育・研究機関としての雇用環境の整備と人材育成

Point 1 : 全学的・総合的取り組み

教育・研究・雇用の点で、女性研究者育成の環境を総合的に整備する。

教育：女性リーダー育成プログラムの実施。とくに大学院生には、競争的資金を獲得し将来自立する力を習得するための実践的な授業を行っている。

研究：子育て中の研究活動向上のために、本事業でモデルとなっている女性研究者それぞれに研究補助者を配し、教育研究活動の効率化を実践できる体制を整え、さらにメンターが研究生活上の問題に対するサポートを行う。

雇用環境：学内保育施設、宿泊施設の整備をはじめ育児支援体制を充実させるとともに、全学的な「9時—5時」体制の実現を目指して業務改善を実施。

Point 2 : 女性人材育成システムのモデル構築

モデルとなる研究者の教育・研究力を強化する方策を検証し、あわせて研究補助者の育成システムをモデル化する。

女性研究者は国際レベルの研究を遂行する能力を高めるとともに、研究室運営能力を練磨する。研究補助者も自身の研究能力・専門的技術力を習得強化し、ステップアップを実現する。この研究者育成過程をシステム化し、次世代研究者や専門的技術者の人材育成モデルとして提示する。



総括責任者名 柴田文明 (理事・副学長)
実施責任者名 羽入佐和子 (副学長・附属図書館長)
推進室等の名称 女性研究者支援プログラム
(COSMOS)推進室
連絡先 E-mail : frsp-info@cc.ocha.ac.jp
[http : // www.ocha.ac.jp /](http://www.ocha.ac.jp/)



5人のモデル研究者たち



整備後の大塚宿舎

文部科学省科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成プログラム



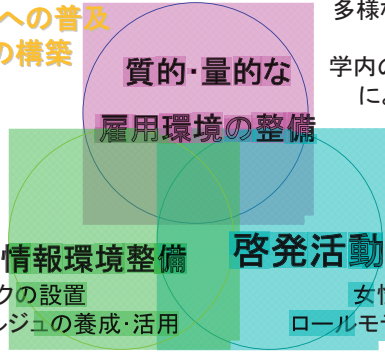
女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築

COSMOS推進室

評価の指標作成と社会への普及
「お茶大モデル」の構築

多様な女性研究者支援メニューの提供

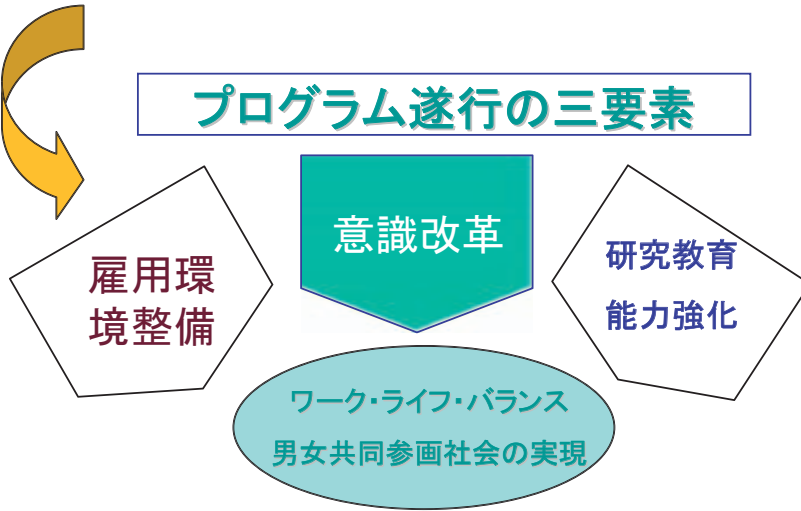
学内の保育所と隣接する独身寮の連携
による研究時間を確保させる支援



情報バンクの設置
研究支援コンシェルジュの養成・活用

女性研究者の諸活動をDVD化
ロールモデルによる若い女性への啓発活動

プログラム遂行の三要素



☆ 第三期科学技術基本計画への寄与

「期待される女性研究者の採用目標は、
自然科学系全体としては25%」

☆ アカデミックな国際的競争力の強化



研究協力者の報告



研究グループ 観察



報告会(隔月)



情報バンク 技術指導



情報バンクの構築



ロールモデル取材を
兼ねた勉強会
國井秀子氏



第1回小講演会0703
由利伸子氏



ロールモデル交流会
0706



第1回講演会0611



活動報告パンフレット



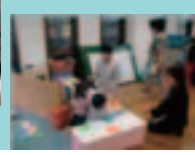
上川大臣視察
0711 ↑→



女子大共催イベント
茂木健一郎氏



ロールモデル取材
相田美砂子氏



郷通子学長

Career Opportunity Support Model from Ochanomizu Scientists